

国語

【注意】

この問題はマークシート問題と記述式問題とにわかれています。
設問部分に「記」とあるものは記述式問題、「マ」とあるものはマークシート問題です。マークシート問題・記述式問題ともにそれぞれ全問が通し番号になっていますが、記述式問題は設問ごとに個別にわけた解答欄となっています。
それぞれ所定の用紙・箇所解答を記してください。

第1問 次の文の傍線部の読みを、送りがなを含め「ひらがな」で書きなさい。

- 記1 傾いだまま棚に放置されている器具が多いことから、管理の杜撰さがうかがえる。
記2 子どもたちの愛らしい姿にふれて、老人は相好を崩した。
記3 この病院の看護師長とは、何年も前から懇ろな関係にある。
記4 一念発起して助産師を目指すことにした。

第2問 次の漢字（送りがなを含む）の読みが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

- マ1 括る「くくる」
マ2 購う「まかなう」
マ3 鼓舞「こぶ」
マ4 捨象「しやぞう」
マ5 猜疑心「せいぎしん」

第3問 次の文の傍線部の「漢字」表記として正しいものをひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ6 相手の未熟さをカンパした。「1」観破 「2」完破 「3」看破
マ7 長年、ホウラツな生活を送ってきた。「1」放埒 「2」呆埒 「3」宝埒
マ8 アンチュウモサクの日々を続ける。「1」安中模索 「2」案中模索 「3」暗中模索

第4問 次の文の傍線部のカタカナを文意に即して「漢字」で書きなさい。各設問には異なる漢字が入ります。また、同じ解答が複数箇所に書いてある場合はすべて誤りとします。

- 記5 代打に起用された選手が起死カイセイの一打を放った。
記6 結婚後もカイセイしない女性が増える傾向にある。
記7 憲法カイセイの是非について討議した。

第5問 次のそれぞれの語の対義語ないし類義語をあとの選択肢からひとつ選び、記号で答えなさい。また、対義語の場合はA、類義語の場合はBを、それぞれ区分欄に記しなさい。

- 記8 寄与
記9 莊重
記10 概略
記11 律儀
記12 質素

【語群】

- ア. 委細 イ. 軽微 ウ. 華美 エ. 雄大 オ. 実直
カ. 総合 キ. 厳粛 ク. 規律 ケ. 貪欲 コ. 貢献

第6問 次の文中には漢字の変換ミスが三箇所あります。それぞれの語を で囲み、さらにそれを正しい漢字に直して解答欄のそれぞれの箇所(記13～15)に記しなさい。
なお、順序は問いません。

窓が適切に設けられており、かつ暖炉に燃料が適切に供給されていさえすれば、ベッドの患者に常に新鮮な空気を確保することは比較的用意である。そういうときに窓の解放を怖れてはならない。ベッドのなかにいて風邪をひくことはないからである。ベッドのなかでも風邪をひくことがあると思うのは、よくある誤りのひとつである。適当な掛け物と必要に応じて湯たんぽを使えば、ベッドのなかの患者を常に暖かく保ちながら、同時に十分な喚起もできるのである。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書(改訳第7版)』湯楨ます ほか訳(現代社)
【注記】原著はすべて正しく表記されている。

第7問 次の慣用表現の空欄に入るものともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

- マ9 業を「 」
「1」果たす 「2」燃やす 「3」流す 「4」煮やす
マ10 馬脚を「 」
「1」はねあげる 「2」うごかす 「3」あらわす 「4」ひるがえす
マ11 肝を「 」
「1」冷やす 「2」流す 「3」渡す 「4」果たす

第8問 次の語句の意味としてもっともふさわしいものをあとの選択肢からひとつ選び、それぞれ該当するマーク欄をチェックしなさい。

マ12 同工異曲

「1」音楽の世界で名をはせること

「2」同じ芸術家が異なる名前をもつこと

「3」見かけは異なっても内容は同じこと

「4」同じ言動に対して反応が異なること

マ13 仮借ない

「1」他人との貸し借りをしないこと

「2」対立している相手に恩を売ること

「3」見逃したり容赦したりしないこと

「4」自力で問題解決にあたること

マ14 鼻白む

「1」悲しみをこらえること

「2」気後れしたり興ざめしたりすること

「3」相手を馬鹿にして軽く扱うこと

「4」寒さに身をふるわせること

第9問 慣用表現を用いた次の文の空欄には、それぞれ身体の部位をあらわす漢字一文字が入ります。文脈から判断してもっともふさわしい漢字一文字を記しなさい。同じ漢字を複数回使用することは認めません。

記16 寒さが「」身にしみる年齢になってきた。

記17 今後の見通しのあまりの厳しさに「」砕けになってしまった。

記18 このところ彼の近況を「」に挟むことが多い。

第10問 次の傍線部のかなづかいが正しければマーク欄「1」を、誤っていればマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ15 わるぢえ（悪知恵）がはたらく

マ16 しゅうじやく（執着）する

マ17 おうむね（概ね）回復傾向にある

第11問 論述には、論理的に常に正しいものと、常に正しいとはかぎらないものとがありま
す。次の文章が論理的に常に正しければマーク欄「1」を、常に正しいとはかぎらなけれ
ばマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

【注】「ゆえに」の前の二つの文の叙述内容は常に正しいものであると仮定します。また、
叙述の内容が実社会の現実と合っているとはかぎりません。

マ18 Aさんは看護学生である。ここでは看護学生は常に名札を着用する。ゆえにAさん
は(こ)では常に名札を着用する。

マ19 大型バスは運転が難しい。この乗り物は大型バスではない。ゆえにこの乗り物は運転が難しくない。

マ20 園長がジョギングするのはいつも夕方である。今は夕方ではない。ゆえに今、園長はジョギングをしない。

第12問 次の文と論理的に同じ内容とならない文を選択肢からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

【注】 叙述の内容が社会の実態と合っているかどうかを問うものではありません。

マ21 この大学の学生は全員ノートパソコンを所有している。

〔1〕 ノートパソコンを所有していない学生がいれば、それはこの大学以外の者である。

〔2〕 この大学以外の学生はすべてノートパソコンを所有していない。

〔3〕 この大学でノートパソコンを所有している者がいれば、それは学生である。

第13問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

病人に向けて、あるいは病人に関して、現在（一般に）行なわれている質問では、病人に関する情報は、ほとんど得られないであろう。しかも、たとえ質問を受けた人が答えるべきすべての情報を持っていたとしても、である。そうした質問は一般に誘導的な質問なのである。質問する前にあらかじめ、その質問に対する答えがどんな形で出てくるかも考えてみないとは、実に奇妙なことではないか。たとえば「患者さんはよく眠りましたか？」と尋ねるとする。ある患者は、途中まったく目覚めないで十時間続けて眠らなければ、自分によく眠れなかったと思うかもしれない。別の患者は、時々うとうととまどろみさえすれば、眠れなかったとは思わないかもしれない。そして実際には、この二人の患者に関して同一の答えが返ってくる。つまり、五日間も続けて二、四時間をまったく眠れないで過ごし、そのため死ぬほどの状態にある患者と、途中目覚めないで眠るいつもの習慣がちよつとくずれただけの患者とが、同じ扱いを受けるのである。いったいなぜ、「何時間眠りましたか？」それは夜の何時ごろでしたか？」と尋ねないのであるか。これは重要なことである。なぜなら、その答えによって不眠への対策が異なってくるからである。宵のうち二、三時間は眠れるがその後は全然眠れないような患者のばあい、彼に必要なものは、十のうち九までは、睡眠剤ではなくて、食物か刺激物またはただ保温だけである。これに対して、ひと晩じゅう眠れずに目が覚めていて朝方になってうとうととまどろむような患者のばあいは、鎮静剤が必要であるし、それに加えて静けさ、涼しさ、常用薬、軽い食事のいずれか、あるいはこの四つの全部が必要なのである。そこで、医師には、この点についての報告が必要となる。でないと医師は、患者に何を与えるべきか判断ができない。「私はひと晩じゅう一睡もしませんでした」という返事は、まったく眠れなかったときにも返ってくるが、それと同数くらい、数時間眠れたときにも返ってくる返事であるが、こうした答えがずっと少なくなるであろう。誘導的な

質問をしたばあいにくらべて、正確な事実を尋ねる質問に対しては、故意にしろ無意識にしろ、虚偽の答えが返ってくるのがずっと少なくなるであろう。もうひとつよくある誤りは、いろいろと多くの要因がありうるある結果について、その結果についても他の要因の有無については質問せずに、ただひとつ、ある要因についてののみ、その有無を尋ねて結果を判断する、という誤りである。たとえば、昨夜は街の通りが騒がしかったかどうかと患者に尋ね、騒がしくなかったという返事を聞くと、それ以上は追求しないで、病人はぐっすりと眠りましたと報告するたぐいである。この種の誘導尋問の不意打ちを受けた患者は、そう答えれば誤解を招くとわかっているばあいでも、問われた質問内容にのみきちようめに答えてしまう。そうした患者の内気さまで考慮されることはめったにない。

フロレンス・ナイチンゲール『看護覚え書（改訳第7版）』湯楨ます ほか訳（現代社）

マ22～27 次の各文が本文の内容と合っていればマーク欄「1」を、合っていない、もしくは本文に該当する記述がない場合はマーク欄「2」を、それぞれチェックしなさい。

マ22 患者のなかには、少しばかりまどろみさえしなければ、眠れなかったと答えることはないと思われるひとがいる。

マ23 誘導的な質問への回答は、事実を正確に尋ねる問いかけよりも虚偽の答えが返ってくる可能性が高い。

マ24 ある結果に関し、ひとつの要因の有無についてのみ質問したばあい、患者のはその要因に関してだけ答えを返してしまうことがある。

マ25 故意に虚偽の答えを返す患者よりも、意識せずに虚偽の答えを返してしまう患者のほうが実際には多い。

マ26 夜中に何時間眠ったか、その時間帯は何時ごろであったかを問う質問は、事実を正確に尋ねる質問ではなく、誘導的な質問である。

マ27 明け方まで眠れずに過ごした患者に対しては、睡眠剤ばかりでなく保温も必要である。

第14問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

デザイナー・ペビーという言葉がいつごろ登場したのかはよくわからない。言葉通り、「望み通りにデザインした赤ん坊を作る」というのがその意味するところで、時には「完全な赤ん坊を生み出す」といった言い方もされる。

一九九九年に英国の生殖医学の専門家ロジャー・ゴスデンが、その名もずばり『デザイナー・ペビー』という著書を出版しているの、これより前から言われ始めた「**A**」であることは確かだろう。この本には「生殖技術のブレイブ・ニューワールド」という副題がついている。「ブレイブ・ニューワールド」は、英国の作家オルダス・ハクスリーが一九三二年に出版し

た有名な小説で、『すばらしい新世界』というタイトルで邦訳されているので、ご存じの方も多いだろう。人間が「Aパイヨウキ」の中で作られ、階級に従って外見や役割、知能も決められる。そんな近未来を描いたディストピア小説（注1）で、受精卵の選別が論じられるときに、よく引き合いに出される。

米大統領生命倫理委員会の議論をもとにまとめられた二〇〇三年の報告書「治療を超えて――バイオテクノロジーと幸福の追求」も、「デザイナーベビー」に注目し、「より望ましい子ども」に一章を割いている。

これらの本や報告書が出版された時には今のようなゲノム編集技術は登場していなかったわけだが、生命科学の手法を使って「望み通りの子ども」をもうけることへの①が、かなり前から議論されてきたことは確かだ。「a」、ゲノム編集が登場する以前から、「デザイナーベビー」に準ずる子どもは生まれてきている、とも考えられる。

それを可能にしたのが、着床前診断だ。

着床前診断は、その名の通り、受精卵が子宮に着床する前に診断する方法だが、女性の体内から受精卵を取り出すわけではない。体外受精で作った受精卵が8細胞ぐらいに育ったところで、そのうち1細胞を取り出して遺伝子や染色体の状態を診断する。異常がないとわかったら、残りの細胞を女性の子宮に送り込んで着床させ、妊娠・出産につなげる、というものだ。

この方法は一九九〇年代に英国で初めて行われた。最初は、主に男の子が発病する遺伝性疾患を避けるために女の子の染色体を持つ受精卵を選別する、という方法がとられた。その後、一部の遺伝性疾患の遺伝子を診断することも可能になった。

日本では一九九八年に日本産科婦人科学会が「重篤な遺伝性疾患」に限って着床前診断を認めている。当時を振り返ると、障害者団体を中心に「i」の選別」という批判が巻き起こり、激しい議論が闘わされたことを思い出す。

実際に日本で着床前診断が用いられるようになったのは二〇〇四年からだ。二〇〇六年には、「染色体転座による反復・習慣流産」も対象に加えられた。着床前診断を用いた重篤な遺伝性疾患の出生予防は、「よりよい子ども」を求めるデザイナーベビー願望②だろう。

重い病気の子どもを持つ親の「u」を思えば、とてもそうは言えない。意図的な遺伝子改変がなされたケースに限って「デザイナーベビー」と呼ぶ考えもあり、それには当てはまらない。

「b」、見方を変えれば、「より健康な子ども」を望む方向へ一歩踏み出す技術でもある。

現時点では「重篤な遺伝性疾患」というbシバリがかかっていると看做しても、その範囲が広がっていけば、「もっと能力の高い」「もっと容姿の優れた」受精卵の選別につながっていいかなとは限らない。

「c」、「治療を超えて、優れた能力や性質を高めようとする試み」が、「エンハンズメント」（強化）である。

(中略)

前に述べた米大統領生命倫理委員会では、「成長ホルモン、美容整形、バイアグラ、リタリン、ドーピングで筋肉を増強、寿命延長」といったテーマが議論の俎上^{そじょう}に上った。

背が低い人は、どれぐらい低ければ「低身長症」の治療として成長ホルモンを使っているのか。注意欠陥・多動性障害 (ADHD) の治療薬であるリタリンを、普通の人が受験の時に集中力を高めるために使うことは許されるのか。ドーピングで筋肉を増強することはいけな^いと誰もが考えるだろうが、もともと筋肉を増やす遺伝子に個人差があるのだから、遺伝子操作でその「エ」をなくすのだと言われたら？ 他の運動能力に関わる遺伝子でも同じことが言われかねない。美容整形も、もちろん考えようによってはエンハンスメントだろうが、これを正面から「いけない」ということはやはり難しい。

知能や記憶力にかかわる遺伝子をもっとはつきりしてくれば、これを操作したいと考える人が出てくることは避けられないだろう。

こうした議論は、これまでは「技術的にはまだできない」を前提としたものが多かった。だが、遺伝子の機能の解明が進み、ゲノム編集が登場したことで、今度こそ現実のものになる可能性が桁違いに高まっているように思う。(中略)

現時点で世界的な議論の動向は、「病気の治療についてはゲノム編集の応用が認められる場合がある」が、「エンハンスメントは認められない」というものだ。たとえば、筋肉の増強などで運動能力向上が図れるとしてもそれには③。知的能力が遺伝子の編集で高められるようになったとしても、これも認められない。

「d」、目の色や髪の色、肌の色などをゲノム編集で変えられるとしたらどうだろうか。体細胞のゲノム編集と、受精卵のゲノム編集では違いがあるだろうか。現時点ではいずれも「ノー」だと思うが、「オ」な話に思えてくる。美容整形がいいのに、なぜゲノム編集だとダメなのか。改めて議論しなくてはならない時がやってくる可能性はある。

その先には、④、という、かなりの難題がやってくるかもしれない。

そう考えていた時に、ユーチューブで見たカリフォルニア大学デーヴィス校の幹細胞研究者ポール・ノフラーの喻え話は刺激的だった。二〇一五年一〇月の「TEDトーク」での講演で、「もし、私があなたのためにデザイナーベビーを作ることができたら？」という問いかけで始まる。

十五年後の未来に、あなたには娘がいる。彼女は「ナチュラル」と呼ばれている。自分たちの選択によってなんの遺伝子操作も受けていないからだ。

隣に住む娘の親友は、クリスパー(注2)を受精卵に使いさまざまな「アップグレード」を施して生まれたデザイナーベビーだ。とても頭が良くて、美しく、背が高く、運動能力が高く、病気にもかかりにくい。そのため、学校も自分の娘とは違う所に通っている。

ノフラーは遺伝子組み換え作物が「GMO」(Genetically Modified Organisms)と呼ばれるのにあわせて、親の望みにあわせて遺伝子改変された子どもたちを「GMキッズ」と呼ぶ。もしこうした「GMキッズ」(組み換えキッズ)が、その世代には何人も生まれている、とし

たら？　そしてあなたの子どもが「ナチュラル」だとしたら？　もちろん、これは完全な空想の話だし、現実にはそう簡単には起こりえないが、c 気持ちがざわざわし、なんとも落ち着かない気分にさせられる。

青野由利『ゲノム編集の光と闇―人類の未来に何をもたらすか』（ちくま新書 1387）一部省略

注1…ディストピア小説―SF小説のジャンルのひとつで、未来の社会を閉塞感に満ちた暗いものとして描く反ユートピア小説のこと。

注2…クリスパー―以前の技術より簡易で安価な画期的ゲノム編集技術「クリスパー・キヤス9」のこと。

記19 傍線部Aの「バイヨウキ」を漢字で書きなさい。

記20 傍線部Bの「シバリ」を漢字で書きなさい。送りがなはひらがなで書きなさい。

マ28 空欄①に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕 経済的価値
- 〔2〕 倫理的懸念
- 〔3〕 技術的課題
- 〔4〕 社会的影響

マ29 空欄②に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕 に限りなく近い
- 〔2〕 そのものではない
- 〔3〕 と判別不可能
- 〔4〕 の典型

マ30 空欄③に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- 〔1〕 現実味がほとんどない
- 〔2〕 待ったがかかることになる
- 〔3〕 ほとんど希望がない
- 〔4〕 きわめて高額のコストがかかる

マ 31 空欄 ④ に入る最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄を
チェックしなさい。

- 〔1〕 耳の形や鼻の高さを調整することの是非
- 〔2〕 これまでとは根本的に異質な人類を生み出すことの是非
- 〔3〕 新しい種類の生物を創造することの是非
- 〔4〕 知能や運動能力を操作することの是非

マ 32 文中の「ア」から「オ」に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを以下からひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。

- | | | | | |
|-----------|--------|-------|--------|--------|
| 〔1〕「ア」うわさ | 〔イ〕優劣 | 〔ウ〕苦悩 | 〔エ〕影響 | 〔オ〕不可解 |
| 〔2〕「ア」文言 | 〔イ〕病気 | 〔ウ〕家計 | 〔エ〕格差 | 〔オ〕曖昧 |
| 〔3〕「ア」用語 | 〔イ〕人間 | 〔ウ〕負担 | 〔エ〕不具合 | 〔オ〕必然的 |
| 〔4〕「ア」はなし | 〔イ〕傷病者 | 〔ウ〕希望 | 〔エ〕原因 | 〔オ〕不本意 |
| 〔5〕「ア」言葉 | 〔イ〕生命 | 〔ウ〕心情 | 〔エ〕不公平 | 〔オ〕微妙 |

マ 33 文中の「a」から「d」に入る最もふさわしいものを以下からそれぞれひとつ選び、該当するマーク欄をチェックしなさい。同じ語の重複使用は認めません。
なお、使用しないものがひとつあります。

- | | |
|------|-----|
| マ 33 | 「a」 |
| マ 34 | 「b」 |
| マ 35 | 「c」 |
| マ 36 | 「d」 |

- 〔1〕ただ 〔2〕このように 〔3〕しかも 〔4〕しかし 〔5〕では

記 21 傍線部Cで筆者は「気持ちがざわざわし、なんとも落ち着かない気分にさせられる」としているがそれはなぜか、説明しなさい。解答は六〇文字以上七〇文字以下の一文で記すこと。句読点も一字分とします。冒頭の一字下げは不要です。